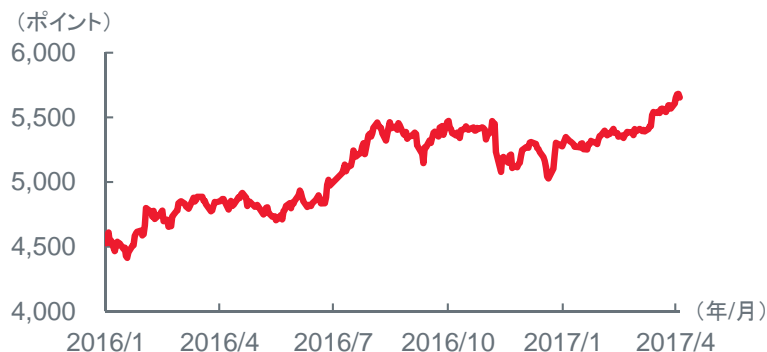


(対象期間:2017/4/3~4/7)

[株式市場]ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2017年4月7日)



[株式市場]

インドネシア株式市場は再び市場最高値を更新するなど堅調となりました。外国人投資家からの資金流入は依然として堅調で、5日連続の買い越しとなりました。7日には米国によるシリア攻撃に加え、米雇用統計、米中首脳会談などのイベントを控えて利食い売りが優勢となりましたが、目立った下落にはつながらず落ち着いた動きとなりました。

2017/3/31	2017/4/7	変化率
5,568.11	5,653.49	+1.53%

[債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2017年4月7日)



[債券市場]

3日に発表された3月の消費者物価指数(CPI)上昇率が前年同月比+3.3%と市場予想を下回ったことを好感し、インドネシア国債利回りは低下しました。しかし、その後は目立ったフローが見られない中で海外勢を中心に利益確定の売りが見られ、利回りは前週末比で小幅に上昇しました。

2017/3/31	2017/4/7	変化幅
7.043	7.137	+0.094

[為替市場]インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2017年4月7日)



[為替市場]

債券・株式市場への外国人投資家からの堅調な資金流入を背景にルピアは対米ドルで堅調な推移となりました。しかし、北朝鮮のミサイル発射、ロシアの地下鉄の爆発事故など地政学リスクの高まりから円高傾向となったため、対円ではルピアは下落しました。

2017/3/31	2017/4/7	変化率
0.839	0.831	-0.95%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開

しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。